

## 生体認証国際標準化セミナー2022 開催案内

平素より生体認証にご関心、ご協力いただき、ありがとうございます。新型コロナによるパンデミック、ウクライナへの軍事侵攻、線状降水帯による水害など、人々の安全・安心を脅かす社会問題が出てきています。

その解決策の入口で生体認証の利活用が世界中で検討されています。一方、情報セキュリティやプライバシーなど社会受容性や相互運用の課題が指摘されています。

本セミナーでは、日本を代表して国際標準化活動を推進いただいている専門家の方々から、生体認証を取り巻く課題や標準化の動向をわかりやすくご紹介いただきます。本セミナーが皆様の事業に資すれば幸いです。

### - 記 -

#### 1. 開催概要

- (1)日時:2022年10月27日(木)、10月31日(月)15:00(受付開始 14:45) ~ 17:30
- (2)開催:(一社)日本自動認識システム協会(JAISA) Zoom 会議システム
- (3)募集:100名(一般募集枠) 最新情報は JAISA ホームページ等をご確認ください。
- (4)参加:無料(但し、参加には事前登録が必要です)

#### 2. プログラム(別紙:講演内容、講師紹介)

※SC:サブコミッティ、WG:ワーキンググループ

【第1部】 生体認証を取り巻く最新動向と標準化	… 10月27日(木)	15:00~17:30
講演1:生体認証の国際標準化総括 ー全体的な活動の動きと主要トピックの概要のご紹介	(SC37)坂本 静生氏	15:05~15:30
講演2:IC カードの生体認証関連トピック ーモバイル ID(身分証明書等)分野における生体認証技術応用の検討状況のご紹介	(SC17)中村 健一氏	15:35~16:00
講演3:情報セキュリティの生体認証関連トピック ー生体情報の保護、モバイル機器への適用を中心にご紹介	(SC27)山田 朝彦氏	16:05~16:30
講演4:金融サービスの生体認証関連トピック ー生体認証関連(eKYC 等)の最近トピックを中心にご紹介	(TC68)橋本 崇 氏	16:35~17:00
ご所感	新崎 卓 氏	17:05~17:20

<b>【第2部】 生体認証の課題と標準化</b>	… 10月31日(月)	15:00~17:30
--------------------------	-------------	-------------

講演1:用語/試験方法と新しい精度評価方式の標準化状況 (WG1/WG5)山田 茂史氏 ーパフォーマンステストと新しい性能評価の方法の標準化状況	(WG1)山田 茂史氏	15:05~15:30
講演2:テクニカルインターフェースの標準化 ー最近トピックを中心にテクニカルインターフェースの課題と標準化のご紹介	(WG2)菊地 健史氏	15:35~16:00
講演3:データフォーマットの標準化 ー交換用データ形式の標準化最新動向のご紹介	(WG3)浜 壮一氏	16:05~16:30
講演4:応用システムや社会との関わりの標準化 ー技術実装と社会的側面の国際標準化活動のご紹介	(WG4/WG6)山田 朝彦氏	16:35~17:00
ご所感	日間賀 充寿氏	17:05~17:20

t1 今年度も2日間開催としました。参加申込された方で当日以降に記録録画を視聴されたい方はご連絡ください。

t2 今年は専門家の方にご所感をいただいた後、時間の許す限りで、質疑応答を行いたいと思います。

#### 3. セミナー参加申込み

JAISA 個人情報保護方針([https://www.jaisa.or.jp/privacy\\_policy.php](https://www.jaisa.or.jp/privacy_policy.php))をご確認の上、下記 URL の申込フォームに必要事項を記入し、お申し込みください。

> <https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=oeka-lhqirb-30f957ec6e455f20992de28d54069e33>

以上

## ■第1部 国際標準化の動向 (2022年10月27日(木) 15:00~17:30)

<b>講演1 (15:05~15:30)</b>	
<b>生体認証(SC37)の国際標準化総括</b> ISO/IEC JTC 1/SC 37 (バイオメトリクス)における国際標準化について、組織構成や参加国、他の国債標準化組織との関係など、続く講演を包括的に理解するための情報を提示いただきます。	<b>坂本 静生氏</b> …日本電気株式会社 2003年よりIC旅券国際標準化活動を開始、SC17/WG4・WG11主査、SC37/WG3幹事、同WG3主査を経て、2022年4月よりSC37委員長。平成29年度標準化貢献賞、工業標準化事業表彰(経済産業大臣表彰)を受賞。
<b>講演2 (15:35~16:00)</b>	
<b>ICカード(SC17)の生体認証関連トピック</b> 生体認証を検討する上で、身分証明書等のモバイルIDを把握することは重要なポイントであり、昨年に行き続き、モバイルID(身分証明書等)分野における生体認証技術応用の検討状況についてご紹介いただきます。	<b>中村 健一氏</b> …パナソニックコネクスト株式会社 2008年から国際標準化活動に従事。2018年からSC17傘下のWG3、WG4、WG10にてそれぞれDTC、モバイルID(ISO/IEC 23220シリーズ)およびモバイル運転免許証(ISO/IEC 18013-5, 6, 7)の標準化に大きく貢献
<b>講演3 (16:05~16:30)</b>	
<b>情報セキュリティ(SC27)の生体認証関連トピック</b> モバイルデバイス上でバイオメトリクスを認証に適用する場合のセキュリティ要件を定める規格の開発がISO/IEC 27553-1と2として進んでいます。これらを中心にご紹介いただきます。	<b>山田 朝彦氏</b> …国立研究開発法人産業技術総合研究所 2005年からバイオメトリクスに関わるセキュリティの国際標準化活動に従事。SC37/WG2, 3, 4, 5, 6, SC27/WG3, 5の活動に参加。ISO/IEC 19784-1, 19785-4, 19989-1, 2, 3, 24761などの規格編集に参加。
<b>講演4 (16:35~17:00)</b>	
<b>金融サービス(TC68)の生体認証関連トピック</b> ISO/TC 68における生体認証に関連する規格開発の状況についてご説明いただきます。特に金融サービスとして進んでいる生体認証の利活用(オンラインでの本人確認(eKYC)ー新たな国際標準ISO 5158)を中心に講演いただきます。	<b>橋本 崇氏</b> …日本銀行決済機構局 2017年6月よりISO/TC 68国内委員会事務局長として、ISO/TC 68およびISO 20022 RMGの各委員会の議論に関与。SC37リエゾンとして、生体認証の利活用方法についても情報共有。
<b>ご所感 (17:05~17:20)</b>	
<b>生体認証に関わる国際標準化活動について(仮)</b> 昨年度までのSC37委員長経験をもとに、これまでの実施してきた取り組みを振り返り、今後の取り組みに期待するところについて所感をお話しいたします。	<b>新崎 卓氏</b> …株式会社 Cedar 2002年のSC37設立時から標準化活動に参加、2017年から2022年までSC37専門委員会委員長を務める。SC27/WG5エキスパート、ISO/TC 68委員会委員。2022年情報規格調査会 標準化功績賞を受賞。

## ■第2部 生体認証の課題と標準化 (2022年10月31日(月) 15:00~17:30)

<b>講演1 (15:05~15:30)</b>	
<b>用語(WG1)/試験及び報告の標準化(WG5)の標準化</b> WG1では用語定義、WG5ではバイオメトリック技術の試験及び報告の国際規格を議論します。特に日本から提案した新しい精度評価方式やグローバルで議論されている精度評価内容について、わかりやすく解説いただきます。	<b>山田 茂史氏</b> …富士通株式会社 2011年よりSC37/WG5国内小委員会委員、2018年4月よりSC37/WG5小委員主査、SC37/WG1(用語)小委員主査等を務める。2017年電気科学技術奨励賞、2019年情報規格調査会 国際規格開発賞を受賞。
<b>講演2 (15:35~16:00)</b>	
<b>テクニカルインターフェース(WG2)の標準化</b> WG2では、生体認証のテクニカルインターフェースの標準化を進めています。最近トピックを中心にテクニカルインターフェースと標準化状況を紹介していただきます。	<b>菊地 健史氏</b> …株式会社日立ソリューションズ クラウド型指静脈認証を用いた顧客協働によるサービス事業の拡大に従事。2013年IdMにおける共通本人認証基盤の開発研究委員会に参加、2015年よりSC37/WG2の国内主査として活動。
<b>講演3 (16:05~16:30)</b>	
<b>データフォーマット(WG3)の標準化</b> WG3はシステム間で生体認証データを受け渡すデータ・フォーマットの標準化を行うWG。開発規格はパスポートなどに利用されています。本セミナーでは最新の第3世代規格までの開発状況について紹介いただきます。	<b>浜 壮一氏</b> …富士通株式会社 2005年SC37/WG3に参加、WG3幹事、SC37幹事を務め、2022年WG3主査に就任。19794-9, 39794-9など静脈画像データフォーマット関連規格のプロジェクトエディタを担当。2012年標準化貢献賞を受賞。
<b>講演4 (16:35~17:00)</b>	
<b>実装(WG4)と社会的側面(WG6)の標準化</b> WG4ではシステムをはじめ社会にバイオメトリクスを適用するための技術的側面の国際標準化活動を実施している。一方、WG6では非技術的側面を含めて国際標準化活動を実施。これらの活動状況を中心に報告いただきます。	<b>山田 朝彦氏</b> …国立研究開発法人産業技術総合研究所 2005年からバイオメトリクスに関わるセキュリティの国際標準化活動に従事。SC37/WG2, 3, 4, 5, 6, SC27/WG3, 5の活動に参加。ISO/IEC 19784-1, 19785-4, 19989-1, 2, 3, 24761などの規格編集に参加。
<b>ご所感 (17:05~17:20)</b>	
<b>生体認証標準化のこれまで日本提案と今後活動について(仮)</b> SC37幹事として、これまでの実施してきた取り組みを振り返り、今後の取り組みを進めるポイントについて所感をお話しいたします。	<b>日間賀 充寿氏</b> …株式会社日立製作所 2015年よりSC37専門委員会幹事、WG5、6委員。2018年よりJAISA精度評価技術グループ長、SC7/WG26国際リエゾン等を歴任。生体認証精度推定手法5152のProject Editorに就任。2020年情報規格調査会 標準化貢献賞受賞